

個別事業(取組)評価

事業No,	41	施策の柱への位置付け	柱⑦ 学校施設等耐震化	
事業名称	南海地震に備える施設整備費		担当課	総務福利課
			当初予算額(千円)	2,205,714
			補正後予算額(千円)	1,741,662
			決算額(千円)	1,156,654

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状 (課題) とその要因	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 公立高等学校・特別支援学校の耐震化率65.4% (平成23年4月1日現在) ※公立高等学校の耐震化率61.1% ※特別支援学校の耐震化率88.3% <p>【課題】</p> <p>昭和56年以前に建築された棟については、耐震診断結果(特にIs値0.3未満で倒壊の危険性の高い建物)に応じて、早急に耐震補強等工事を実施しなければならない。前年(61.9%)と比較すると耐震化率は上昇したが、依然として全国平均より低い水準にある。東日本大震災を踏まえ耐震化の推進は喫緊の課題である。</p> <p>【要因】</p> <p>本県は、厳しい財政状況(財政力指数0.25 全国46位)にある。「県有建築物耐震化実施計画」に基づき着実に耐震化を進めているところ)</p>	<p>ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>現状分析の結果については、9月に実施した中間点検・評価等で定期的に検証を行っている。</p> <p>イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>要因分析の結果についても、9月に実施した中間点検・評価等で定期的に検証を行っている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ◆ Is値が0.3未満で倒壊の危険性の高い建物については、計画的に耐震補強設計や耐震補強等工事を実施し、平成24年度末までに耐震化を完了する。 ◆ その他の建物についても、「県有建築物耐震化実施計画」に基づき耐震化を進めているが、学校や関係部局とも協議をしながら、現在の計画を前倒しするとともに、少しでも早い時期に100%の耐震化率を達成できるよう努める。 <p>※ 平成24年4月1日現在で、公立高等学校・特別支援学校の耐震化率71.7%を目標とする。</p> <p>【検証(比較)方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「県有建築物耐震化実施計画」に基づき、平成23年度に予算化した耐震補強設計や工事の発注・完成の進捗状況を把握する。 ◆ 各年度末時点における耐震化率の推移を比較する。 ◆ 「県有建築物耐震化実施計画」になく今後耐震化が必要な棟の計画への反映状況を確認する。 	<p>ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>Is値0.3未満の建物については、「県有建築物耐震化実施計画」に基づき、平成24年度末までに耐震化を完了することが計画されており、予定どおり実施すれば達成可能な設定である。</p> <p>エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「県有建築物耐震化実施計画」に基づき耐震化を推進しており、Is値0.3未満の建物については、平成24年度末までに耐震化を完了するべく耐震補強設計や耐震補強工事を順次実施している。 ◆ 「県有建築物耐震化実施計画」には載っていないが、今後の耐震化が必要な棟については、関係部局や学校と協議のうえ、計画を前倒しすることとし、早期の耐震化率100%を達成できるように努めた。 ◆ 平成24年3月31日現在、公立高等学校・特別支援学校の耐震化率は70.5%(暫定値)であり、当初目標には若干届いていないが、繰越を考慮すると当初目標はほぼ達成されていると判断する。
③	実施内容 (Input・Output)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 耐震診断結果に応じて、耐震補強設計、耐震補強等工事を実施し、耐震化を積極的に推進する。 ◇平成23年度予定(当初予算2,205,714千円) <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断 3校 5棟 ・耐震補強設計 16校33棟 ・耐震補強工事 15校29棟 ◆ 「県有建築物耐震化実施計画」になく、今後の耐震化が必要な棟について学校や関係部局と協議しながら、前倒しによる計画への追加を検討する。 	<p>オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成23年度については、一部繰越や補強設計内容の見直しを要するために未発注になった所もあったが、ほぼ計画どおり実施した。 平成23年度実績 <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断 2校 2棟 ・耐震補強設計 11校25棟 ・耐震補強工事 13校23棟 ◆ 「県有建築物耐震化実施計画」には載っていないが、今後の耐震化が必要な棟については、関係部局や学校と協議のうえ、計画を前倒しすることとし、平成24年度以降順次実施することとした。
総合評価 と 今後の方向		<p>目標達成度 B 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/></p> <p>【総合評価】</p> <p>本県の財政状況は厳しいものの、国の交付金等の活用により、ほぼ計画通り耐震化を進めることができた。</p>	<p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「県有建築物耐震化実施計画」に基づき、引き続き順次耐震化を行い、早期の実質耐震化100%を目指す。 ◆ 特にIs値0.3未満の建物については、平成24年度末までに耐震化をほぼ完了させる。